

圏外のアンテナ



[伝言ゲーム]の巻

行列は、女子トイレの花である。

しかし、そうも言っていない事態が進行中だ。

昨日も、仕事で下車した大崎駅のトイレに、10人ほどの行列ができていた。

ははあ〜と思ったわたしは、スルスルと行列の角をすり抜けて、中へ入って行った。

けっして、せっぱつまっていたわけでも、横入りしようとしたわけでもない。長い行列にピン！と来たからである。

列の先頭に出て個室を確認すると、案の定、和式のドアが2つ、開いている。中は空っぽなのである。

先頭の女性が「和式なら空いてますよ。お先にどうぞ」と声を掛けてくれた。

うにゃ、ありがとうございます。では、皆さんにと後ろを振り向き「和式なら空いてますよ〜」と少し大きな声を張り上げた。

通常こういった場合、たいていの人は、首を振るかうつむいて目を反らす。だが、昨日は言葉で答えてくれた人が、2人もいた。

「膝が痛くてしゃがめないの…」と恥ずかしそうに言う白髪の女性と、「わたしは洋式しか使えません」とつぶやく女子学生である。

そういうことならとニコリして、わたしはそそくさ進み出た。

そのタイミングで「設計した人、わかってるの？和式に入る人なんて、今時いないのにね」と、後方の2人が、怒りをぶちまけた。

使用后、手を洗いながら鏡をのぞくと、行列は変わらず、和式のドアはやはり2つ、開いたままである。

少子高齢化や、生活習慣の変化するスピードに、世の中のハードが追いつかない。似たような事態はこれからも増えて行くのだろう。

改札口に向かう目の端に、列の最後尾に並ぶ人の姿が見えた。

彼女に「和式に、空室アリ」という伝言ゲームは、届いたかしら？

そんなことが、気になった。

=2013年10月22日掲載=



最近のマーケットでは、子供用椅子付きカートが余りすぎ